

# 保護者通信 本科2期号【中3生】

## 本科担当講師から「本科2期授業報告」「冬休みの過ごし方」のメッセージ

【英語】

中3英語 3EJS 渡辺 いづみ講師 [わたなべ いづみ]

本科2期では、準動詞の復習の後、少しハイレベルな分詞構文、否定、倒置、強調などの発展的な表現も学んできました。これらは英作文に生かすというよりは、長文読解の際に正しく理解できるようになってほしい表現です。一度にたくさんの特別な文法ルールが出てきて、混乱しているかもしれませんね。それを整理して、しっかり自分の知識のストックにしまうためには、この冬期講習を利用するのが一番の近道です。まず、休まず毎日出席する、集中して、授業を聞き、ノートをとる。授業中にわからないことがあれば先生に質問する、そして短時間でいいので家で復習(練習)する。冬休みは短いし、年末年始は来客があったり、旅行に行ったり、忙しくて、復習する時間がない!この時期によく耳にするexcuseですが、ほかの科目と違って、英語は机に向かわなくても、練習できます。基本例文を聞くこと、学校で使用しているテキストの音読などは隙間時間にできます。1日10分でも大きな効果があります。寝る前の時間でも、入浴中や歯磨き中でも、リスニングの練習はできます。ちょっとした工夫と努力で、冬期講習で学んだことが定着します。そうすれば、本科3期を余裕を持って迎えられますね。忙しい時こそ時間を上手に使って、差をつけましょう!

【数学】

中3数学 3MJS 宮崎 賢一講師 [みやざき けんいち]

今年4月から高校数学に入り、1回あたりの授業の内容が深く、そして授業内で扱う量が多くなりました。そのため、去年までとは比較にならないほど授業の復習が必要になっております。しかし、残念ながら、復習を満足におこなえていない生徒さん、また、復習をすることだけで満足をしてしまっている生徒さんが結構いらっしゃいます。もちろん復習をすることは大事ですが、それだけで、定着するわけではありません。数多く演習をおこない、考え方を身につけた上で初めて自分のものになるのです。残念ながら普段から自分から机に向う意識に差が出てしまっているように思います。人に言われなくても勉強に積極的に取り組んでいくようにしましょう。

2期で数学IAの内容をほぼすべて終了し、3期からは数学IIの内容に入っていきます。

これらは、今まで勉強した数学I(数と式・2次関数・三角比)がわかっていることが前提で進めることとなります。

この冬休みを有効活用し、数学Iの穴を無くせるようにしていきましょう。

最後に、保護者の方々へ。お子様は、来年の秋には文系か理系かを選択する時期になりますので、職業、進路のことを含め、一度、お子様と将来について話し合ってくださいようお願いいたします。

中3選抜東大・医学部数学 3MJSS 石田 浩一講師 [いしだ こういち]

本科2期では高校数学Ⅱ、Ⅲの微分法、積分法を学びました。多項式を対象とした数学Ⅱの範囲での微分法は、そのスタイルさえ理解できれば割と理解しやすい単元ですが、このクラスでは通常のクラスでは理系でしか扱わない数学Ⅲの範囲での微分法、すなわち、三角関数や指数関数、対数関数の微分や積・商の微分、合成関数の微分まで扱いました。この範囲となると、以前に学んだ拡張された指数の扱いや各関数の理解と共に、特に合成関数の微分ではルール通りに正確に処理をする能力が求められます。文系の大学入試ではこの範囲は必要ないのですが、以前の単元と連携させることで、学んだ知識を振り返り活用できる状態にまで高めることを目的としてこのような扱いとしています。さらに後半では積分法を学ぶ中で、古代ギリシャ以来の積分法の考え方と17世紀にニュートンによってもたらされた革命的な考え方の融合を、歴史的背景とともに紹介しました。ここでも数学Ⅲの範囲まで学ぶことにより、以前に学んだ知識を活用し定着させることを目指しています。抽象度も計算量も格段にレベルが上がりますが、その中で中学から高校範囲での「見通しを持った計算」の重要性を再確認してもらおうことを目指しています。冬期講習では微分法・積分法全体的見直しをする中で、これらがどのような数学的事象と絡んで行くかを一緒に学んで行く予定です。

★学習は継続していくことが何より大切です。2学期中で習ったことを冬期講習中にしっかり定着させ、また3学期も新しいことを学習していきましょう。

**Z会東大進学教室メテウス** 教室窓口受付時間 14:00~21:00(月~土曜日)※講習期間中は異なる場合あり

御茶ノ水教室 03-5296-2828 渋谷教室 03-5774-2828 新宿教室 03-5304-2828

池袋教室 03-5985-2828※[池袋教室は月曜休室日]